

履 歴 書

2025 年 10 月 23 日現在

ふりがな こ じょん ひょん		
氏 名 高 定 玄		
1997 年 1 月 9 日生（満 28 歳）	（男）女	
ふりがな ぎょんぎどう あにゃんし ひょんちよんどん		電話
現住所 〒 14063 京畿道 安養市 坪村洞 101 インドクウォンテリムイチャ APT 210-704		+82-10-4052-3757
		E-mail
		dnwn0109@naver.com

年	月	学歴・職歴
2012	01	京畿道白英高等学校入学
2015	02	京畿道白英高等学校卒業
2015	03	乙支大学医療広報デザイン学科入学
2016	08	乙支大学医療広報デザイン学科休学（インターンシップ）
2018	02	乙支大学医療広報デザイン学科退学
2020	01	軍隊入隊（社会服務要員として代替服務）
2021	11	軍隊除隊
2023	8	放送通信大学コンピュータ科学科入学
2025	4	放送通信大学コンピュータ科学科退学
2025	4	単位銀行制コンピュータ科学学部入学
2025	9	単位銀行制コンピュータ科学学部在学中
2026	8	単位銀行制コンピュータ科学学部（卒業予定）
		職歴
2016	9	エイブルコム会社 マーケティング部 インタナシッ プ（～2017.06）

2023	3	ITWILL 開発系専門スクール(~2023.9)
2023	12	Petpuls 会社 開発部 R&D 業務担当 (~2024.12)

言語	資格名	点数・級	取得日
日本語	JLPT	N2	2025.08.25
	その他		
英語	TOEIC		
	その他		

年	月	資格 & ライセンス情報
2016	03	普通第2種運転免許
2017	12	GTQ グラフィック技術資格1級
2023	07	情報処理技師(筆記試験)

自己PR

私の強みは「粘り強く努力です。

私はもともと美術を専門に学んでいたわけではありませんが、「美術と広報」が融合したカリキュラムに魅力を感じ、大学に入学しました。

この専攻は非美術系の学生も入学が可能でしたが、実際には42人中34人が美術大学を目指していた経験者で、授業の大半も美術中心の内容でした。

そのため、当初は成績も思うように伸びず、授業についていくのに苦労しました。

しかし私は、そこであきらめることなく、夏休み期間中は毎日3時間以上画室に通い、デッサンと色彩の基礎を一から学び直しました。

さらに、一部の授業ではコンピュータを活用したデザイン課題もあったため、学校の授業に加えて塾にも通い、関連する資格を取得するなど、自主的にスキル向上に取り組みました。

その結果、翌学期には成績が向上し、少しずつ自信もついてきました。

弟の留学支援により家庭の経済状況が変化したため、大学を中退することになりましたが、努力を重ねれば成果が出るという貴重な経験になりました。

この経験を通じて、私はどんな困難な状況でも、目標に向かって粘り強く取り組む力を身につけました。

貴社での業務においても、一つ一つの課題に対して誠実に向き合い、諦めずに地道な努力を重ねていく姿勢を大切にしていきたいと考えています。

私の力量とプロジェクト経験をもっとよくお見せしたくてポートフォリオリンクを添付します。

プロジェクトリストページ:<https://gjhcode.com/>

個人ポートフォリオサイト:<https://portfolio.gjhcode.com/>

私の履歴と技術スタックは個人ポートフォリオサイトで、私が開発した様々なプロジェクトの詳細はプロジェクトリストページで確認できます。

志望動機

私は幼い頃から何かを作ることが好きで、物事を考えたり試行錯誤したりする過程に楽しさを感じてきました。その経験から、IT技術やサービスを通じて、社会や世界に貢献したいという思いを抱くようになりました。

現在、若い世代にとってAIやITツールは日常的に使われていますが、親世代やそれ以上の世代にはまだ十分に活用できていない方も多くいます。そのため、誰でも簡単に使えるAIや技術を開発し、多くの人が日常生活や仕事で便利に利用できる環境を作りたいと考えています。

また、ITは今も非常に重要ですが、これからの社会ではさらに不可欠になると感じています。技術が進化するスピードに合わせて、柔軟に学び続け、新しいサービスや価値を生み出すことで、人々の生活や社会全体に貢献したいです。

こうした思いから、私はIT分野で自身の技術力を最大限に活かし、社会に役立つ価値を提供できるよう努力していきたいと考えております。

大学学業（専攻科目、得意科目）

私が特に力を入れて取り組んだのは、社会人として働きながら学んだ放送大学での学修です。

実技を専門とする分野から開発専攻へ変更したため、プログラミングやITの基礎知識が不足していると感じ、放送大学に入学しました。平日は仕事が終わった後に毎日2時間ほど講義を受け、日曜日には試験を受けるという生活を約1年半続けました。中でも特に力を入れたのが「数学」の科目でした。私は中学生の頃から数学が苦手で、基礎が十分理解できていない状態でした。放送大学で学ぶ数学は理工系向けの内容で、初めて触れる概念も多く、大きな挑戦でした。講義だけでは理解が難しいと感じた私は、自らインターネットで調べたり、古い教科書を引っ張り出して、少しでも概念をつかもうと努めました。試験では学んだ内容を活かして問題を解き、自分なりに達成感を得ることができました。後半は業務の都合により、学習に集中しづらい時期もありましたが、平日は睡眠時間を削って深夜に学習し、週末の予定も極力控えて課題や試験勉強に取り組みました。こうした積み重ねにより、最終的に課程を修了することができました。この経験から、「必要な知識を自ら調べて学ぶ力」と「現実的な課題に主体的に取り組む姿勢」を身につけました。今後も必要な知識を自ら吸収し、柔軟かつ実践的に業務に活かしていきたいと考えています。

課外活動（ゼミ、アルバイト、インターン、語学研修など）

私は大学時代、サッカーサークルの活動に力を入れて取り組みました。

もともとサッカーにはあまり関心がありませんでしたが、サークル代表をしていた友人の誘いで入部することになりました。最初は体力的にも厳しく、ついていけるか不安でしたが、実際にプレーする中で仲間と協力してゴールを目指す楽しさを感じるようになりました。その後は、大きな試合やイベントにもできる限り参加するように努め、学科対抗の大会ではチームの

ベスト4入りに貢献することができました。

この経験から、自分の「やってみよう」という一歩の大切さと、チームで取り組むことの意義を学びました。最初は興味がなかったことでも、実際に挑戦することで視野が広がることを実感しました。

趣味・特技

私の趣味はジムに通って運動することです。

ももとは特に趣味がありませんでしたが、健康のために何か始めたほうがいいと思い、昨年からジムに通い始めました。最初は続けられるか不安でしたが、実際に通ってみると、会社の通勤や仕事によるストレスの解消に非常に効果的であると感じました。

今では、ジムに行くことを自分のルールとして生活にしっかり組み込んでおり、体調が悪くない限り、前日にお酒を飲んだ日でも欠かさず通っています。

体を動かすことで気分がすっきりし、日々のコンディションを整えるのにも役立っています。運動を続ける中で、集中力や自己管理能力、そして目標に向かって継続的に努力する姿勢が自然と身についたと感じています。また、最近はさらに運動への興味が深まり、これまで経験したことのないボクシングやテニスにも今後挑戦してみたいと考えています。